

## 2022 連合中央女性集会アピール（案）

私たちは、今日「ジェンダー主流化で女性を意思決定プロセスに～平和で格差のない社会をめざそう！～」をテーマに「2022連合中央女性集会」に集いました。2019年以來の会場参加とWebを併用し、全国の働く仲間の皆さんと、今ある課題やこれから取り組んでいくべきことを共有できました。

未だに収束しない新型コロナウイルス感染症は、とりわけ女性に大きな影響を与え、世界全体のジェンダー・ギャップにも大きな影響を及ぼしています。男女間のすべての格差の解消に必要な期間が100年から132年に延びるなど、格差が解消されないまま、より固定化されてしまう懸念も広がっています。また、ウクライナの地ではロシアによる軍事侵攻が続いており、女性と子どもは男性と比べて、より深刻な影響を受け、その質も異なっていることが指摘されています。

社会の仕組みや制度の弱さなど、男女平等参画、ジェンダー平等に関わる課題が改めて浮き彫りになった今、すべての政策分野にジェンダーの視点を取り入れることが必要です。折しも、社会の流れは差別を許さず、多様性を認める方向に進もうとしています。

今こそ、社会の隅々までジェンダー平等を浸透させるため、私たち自身が労働組合で「ジェンダー主流化」を具現化していかなければなりません。

この「2022 連合中央女性集会」で得たことを職場・地域へ持ち帰り、私たち一人ひとりが身近な仲間と共有することが、ジェンダー平等で多様性を認めあう職場・社会の実現につながります。まずは自分の職場で、ジェンダー平等や女性のエンパワーメントをめぐる諸課題について欠けている分野や改善点がないかを点検し、「ジェンダー主流化」で、ジェンダー平等を普遍的かつ中心的な課題にしていきましょう。

2022年10月21日  
2022連合中央女性集会